「人口動態分析/予測」技術

KDDI 研究所は、スマートフォン位置情報ビッグデータを対象に、日本国内の任意エリアにおける人口動態の推定および予測をリアルタイムに行う「人口動態分析/予測」技術を開発した。匿名化された個々人の位置情報データに対して、移動と滞在の識別、滞在場所・時間の推定、移動経路・移動手段の推定といった各種行動分析技術と、マスとしての人流分析技術を確立し、これまで任意エリアの人口分布までしか分からなかった人流について、移動者数や滞在者数、鉄道路線や走行道路ごとの移動者数等の詳細情報をリアルタイムに推定、予測可能とした。本技術は KDDI 位置情報ビジネスの分析基盤へ商用適用されており、現在、観光・交通・防災等の多方面での人流分析に活用されている。トヨタ自動車株式会社、応用地質株式会社との防災領域の取組(IoT ビッグデータ分析の最新技術を活用した、「国・自治体向け災害対策情報支援システム」)については、業界団体 GSMA(GSM Association)のSocial Goods 活動の一環として 2018 年 9 月の国連総会にて取り上げられた他、国内での人流データ利活用に寄与したことが認められ 2020 年 4 月に第 65 回前島密賞を受賞した。

